

## 第 4 回 利根町振興計画審議会 議事要録

会議名	第 4 回 利根町振興計画審議会	
日時	平成 30 年 8 月 30 日（木） 午後 3 時 00 分から午後 4 時 50 分まで	
場所	利根町役場 4-A 会議室	
出席者	委員	本橋会長，伊藤副会長，船川委員，五十嵐委員，花嶋委員，新井委員，石山委員，岡委員，古宇田委員，市川委員，高野委員，高橋委員，中西委員，伊井委員，大蔵委員
	事務局	企画課：飯塚課長，青木課長補佐，永田係長，成島主任 ジャパン総研：竹澤研究員
欠席委員	江口委員，矢口委員	
議題	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 第 5 次利根町総合振興計画 【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 2 次素案）について 4 その他 5 閉会	
配付資料名	資料 1：第 5 次利根町総合振興計画【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 2 次素案）	

### 議 事

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

（本橋会長あいさつ）

（事務局が，出席 14 名で会議が成立していること，資料確認）

#### 3 協議事項

（1）第 5 次利根町総合振興計画【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 2 次素案）について

（事務局が「資料 1：第 5 次利根町総合振興計画【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 2 次素案）」により説明）

会長：ご質問，ご意見をお願いします。

高野委員：「インスタ映え」という表現が追加されていますが，「インスタ」はインスタグラムというアプリケーションのことなので，汎用性のある表現にするとよいと考えます。

事務局：汎用性のある表現に修正します。

大蔵委員：「インスタ映え」は、SNSの特性に沿った情報発信を進めていくという意味で盛り込んでいけるとよいと考えます。

高橋委員：P. 8の上の位置図に、千葉県、都内を含めてほしい。

伊井委員：40km圏内を表示するとよいと考えます。

会長：40km圏内の表示で修正してください。

高橋委員：具体的な事案については、検討しないのですか。

事務局：具体的な事案については、基本計画で検討します。

副会長：アクセスの不便さは、栄橋の渋滞だけではないので、取手へのアクセスなどを盛り込んでよいと考えます。

高橋委員：町民アンケートにおいても、病院がない、商業施設がないなどがあるので、他市へのアクセスについても盛り込んだ方がよいと考えます。

事務局：各分野における方向性は、基本計画の中で検討します。

石山委員：計画書の中に、利根町の写真を入れた方がよいと考えます。

事務局：今後、計画の内容が決まりましたら、基本計画等で、写真も入れる予定です。

中西委員：P. 25, 基本方針 1, [土地利用・住環境等], 2 段落目の「身近な公園」だけではなく、大きな公園も必要と考えますので、「身近な」を削除した方がよいと考えます。

事務局：今後の事業内容などを含め検討します。

新井委員：今は、基本構想の網掛けの修正部分を中心に全体を協議しているので、個別の表現についての協議は、後にした方がよいと考えます。

会長：全体について協議した後、個別に進めます。全体では、よろしいですか。意見が無いようですので、第1章からご意見をお願いします。

五十嵐委員：P. 1 のアンケート、交通への不満度が高い、3次4次の総合計画でも同様であったので、基本構想の中で、対策を明確にした方がよいと考えます。

会長：基本構想で検討します。

副会長：P. 19, (1) の 4 段落目、「生産年齢人口」とあるが、もっと若い世代の人口を増やすような表現とした方がよいと考えます。

事務局：前回の協議で、若い世代を明確にした方がよいとのことで、人口の表現である「生産年齢人口」という表現を使用しています。

五十嵐委員：統計上で使用しているので、このままでよいと考えます。

古宇田委員：高齢者の受け入れについても考えてもよいと考えます。今後は、東京の高齢者が入ってくる可能性もありますので。

中西委員：利根町は、16,000人の人口で、出生数が40人であることを踏まえると、多くのことを考えるよりも、子育て世代への支援を第1に考える必要があると考えます。

副委員長：新生児を増やしていくことは、大きな課題と考えます。

石山委員：P. 24, まちづくりの将来像, 3 段落目、「脱却」という言葉は、違和感があると考えます。

事務局：「利根町らしさ」だけではなく、既成概念にとらわれないという意味に修正します。

石山委員：P. 24, まちづくりの将来像, 「ともに創ろう」は、進行のための声掛けになってしまっていると感じます。

大蔵委員：計画の終了年度を迎えても、進行させていく意味で、賛同して頂いたと考えています。

伊井委員：常に向上していくという意味でよいと考えます。

会長：このままとします。

大蔵委員：栄橋の流入量は減少し、人口減が進めば解消していくと考えると、県に要望を出しても対応してくれないことも想定されるので、栄橋に頼らない考え方も必要と考えます。

事務局：若草大橋は、有料など利点が少なく活用されていないので、若草大橋に車を流す施策が現実的と考えています。

伊井委員：若草大橋を無料化することは可能ですか。

事務局：可能であるが、利根町が負担することになります。

伊井委員：若草大橋に敷地があるので、人が来るような何かをつくり、流れをつくるアイデアが必要と考えます。

大蔵委員：人の流れができたり、人口が増えれば、渋滞が進むので、利根町で働けるなど、別の視点からの渋滞緩和を考えた方がよいという意味で提案しています。

新井委員：人口減は交通の便の影響が大きいと考えているが、住宅が小さく、同居ができなくなり、出ていくケースが多いと考えています。そのため、高齢者のための高齢者のまちなど、今までとは違う発想で人が集まるようにした方がよいと考えます。

古宇田委員：どこも若い人に来てもらおうと思っているので、若い人を集めるのは非常に難しいと考えます。そこで、在宅企業の人を集めるなど、違う発想で人を集めることが必要と考えます。

新井委員：守谷で利根町の子育て支援はよいとの声を聞いたので、都内などにもっと発信した方がよいと考えます。

船川委員：P. 25, 基本方針 1, [道路・交通等], 2 段落目, 栄橋の渋滞緩和を目的とした文章にして、わかりやすくした方がよいと考えます。

大蔵委員：道路の問題は、今の意見の内容でよいが、求める人材についても、入れた方がよいと考えます。

岡委員：子育て世代を呼ぶために、P. 26, 基本方針 3, [教育等] の内容を魅力あるように変えて頂きたい。内容的には、1 段落目は同様な表現となっているので、簡潔な表現とすること、2 段落目は、学校・家庭・地域の連携と幼・小・中・高の大学との連携による特色ある教育の構築に努めることなどを考えています。

高橋委員：子どもたちが、利根町に残るような教育ができるとよいと考えます。

伊井委員：留まることだけでなく、出て行って、戻ってこれる体制をつくることも必要と考えます。

岡委員：心に残る町として、戻って来るようにするとよいと考えます。

伊井委員：布川のお祭りなど、戻ってくる要素となると考えます。

岡委員：伝統芸能を学校教育に持ち込むとよいと考えます。

中西委員：伝統芸能や文化を学べる環境を町全体でつくるのがよいと考えます。

船川委員：表現方法はそのままとし、出てきた意見については、基本計画の子育て支援の中で反映していけばよいと考えます。

市川委員：ペットとの関わりについても入れた方がよいと考えます。

大蔵委員：ペットについては、最後までペットと安心して暮らせるようにすることも考慮する必要があると考えます。

伊井委員：P. 27, 基本方針 4, [農業等], 地産多消に多産地消を追加するとよいと考えます。

大蔵委員：海外にも広げることが可能と考えます。

伊井委員：物産だけでなく、人も含まれると考えます。

船川委員：ここでは、地場産業についての項目になるので、違うのではないかと考えます。

伊井委員：1 自治体では無理なので、複数の自治体と連携していく体制を考えおり、防災関係なども含まれます。

古宇田委員：姉妹都市はありますか。

事務局：姉妹都市はありません。

古宇田委員：特に遠隔地連携などはよいので、進める方がよいと考えます。また、働き方について研究し、働く場を整備していく視点も必要と考えます。

会長：基本構想は、基本的によろしいですか。

委員：異議なし。

伊井委員：P. 27, 基本方針5, [行政運営等], 2段落目, 「ICT技術」の意味は何ですか。

中西委員：情報通信技術のことです。

事務局：最終的には、用語解説をつけます。

会長：第3章についてはいかがですか。

伊井委員：利根町は、休耕田はありますか。

新井委員：あります。

伊井委員：休耕田に田んぼアートはどうかと考えます。

花嶋委員：実施すると費用や人手がかなり必要となります。

岡委員：小学校で体験農業をするとよいと考えます。

新井委員：実施しています。

#### 4 その他

(事務局より次回第5回審議会を11月初旬に開催することを連絡)

#### 5 閉会

以上